

世界に満ちる様々ないのち

モノやコトにも宿るいのち

あの世とこの世を結ぶいのち

太古から未来へ継がれるいのち

そんないのちと共にあること

共にある私を確かめること

それが「ともいき」です



■第一部…ともいきがたり（お話と演奏）
「いのちと語らう響」

東儀秀樹（雅楽師）

笙は天、篳篥は地、天地を結ぶ龍笛…
東儀さんの奏でる響の由来や
異種音楽と共生するヒントについて
実際の響を交えてお話戴きます

法然共生

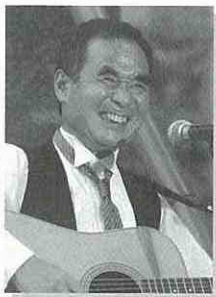
ともいき

いのちを慈しむ知恵

in 広島



書・紫舟



高石ともや



田中悠美子

■第二部…ともいき楽会（談義と演奏）

「ともいき音楽！」

高石ともや（フォーク歌手）

田中悠美子（義太夫節、三味線）

南 忠信（浄土宗僧侶）

東儀秀樹（雅楽師）※コメンテーター

高田公理（佛敎大学教授）※コーディネーター

今回のテーマ：

ともいき音楽

～いのちと語らう響

芸能とは 人々～自然～大宇宙まで
様々な“いのち”に語り 繋がる方法です
音楽という“共生のわざ”について
語り 歌い 奏でる一期一会！

参加無料

※参加応募方法を裏面に記載しています

日時：平成21年 11月13日(金) 18時30分より

(18時開場/21時15分終了)

会場：広島市青少年センター ホール(広島市中区基町)

主催：浄土宗 中国新聞社 後援：京都新聞社 特別協力：法然上人をたたえる会

協力：総本山知恩院(京都) 大本山増上寺(東京) 大本山金戒光明寺(京都) 大本山知恩寺(京都)

大本山清浄華院(京都) 大本山善導寺(久留米) 大本山光明寺(鎌倉) 大本山善光寺大本願(長野)

とも いき
法然共生フォーラム
 ～いのちを慈しむ知恵～

こころは乾き、いのちは痩せ細り、社会は、ゆくえの见えない閉塞に覆われています。

いまこそ豊かな想像力を取戻し、あらゆるものに等しく息づく“いのち”を想い、慈しみたい。

世界に満ちる多様な“いのち”、過去から未来へ連なる遙かな“いのち”と共にある・・・それが“ともいき”です。

このフォーラムは、法然上人の教えに流れる“ともいき”精神について考える、

対話と交流の場です。浄土宗が全国各地で開催しています。

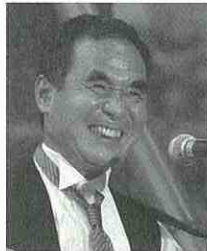


東儀秀樹

(雅楽師)

とうぎ ひでき

1959年、東京生まれ。東儀家は奈良時代から続く楽家。幼少期を海外で過ごしポピュラー音楽を吸収。宮内庁楽部では箏を主に琵琶、鼓類、歌、舞、テロを担当。一方で雅楽にシンセサイザー等を交えた創作に情熱を注ぎ脚光を浴びる。'96年アルバムデビューし「天・空・地～千年の悠雅」「TOGISM」「Out of Border」「地球よ」等を発表。昨年はNHK「篤姫」に、孝明天皇役で出演した。



高石ともや

(フォーク歌手)

たかいし ともや

1941年、北海道生まれ。ポップ・ディランに衝撃を受け'66年にデビュー。日本フォーク界の草分けとして、アメリカのルーツ民謡や日本の芸能も探求し、場所と時代に根差す歌を追求。'73年に始めた「京都祇園祭・宵々山コンサート」は本年中締め。現在、巡礼歌を携え「西国巡礼Run-991キロ」に取組む。代表曲に「陽気にいこう」「死んだ男の残したものは」「街」「春を待つ少女」ほか。

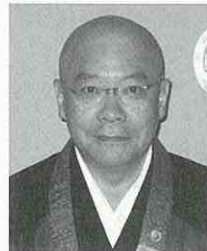


田中悠美子

(義太夫節・三味線)

たなか ゆみこ

東京芸術大学在学中、義太夫三味線の首色に惹かれ、文楽の人間国宝、故・野澤錦糸に義太夫三味線を、女流義太夫の人間国宝、竹本駒之助に義太夫節の語りを師事。女流義太夫の三味線弾きとして活動し、1990年度芸術選奨文部大臣新人賞受賞。現在は、現代音楽や舞台芸術とのコラボレーションでも国際的に活躍、日本の声と楽器の可能性を追求する。



南 忠信

(浄土宗僧侶)

みなみ ちゅうしん

1948年、京都生まれ。佛敎大学卒業。浄土宗総本山知恩院法務部長。浄土宗京都教区大光寺住職。浄土宗法儀司(法要儀式に最も精通する者の階位)。浄土宗法式審議会委員。保護司。長年に亘り浄土宗僧侶の育成・指導にあたり、法要儀式に関する研究多数。聲明、法要、儀式を研究し、国内外の舞台上で公演を行っている僧侶グループ「七聲会」代表。



高田公理

(佛敎大学教授)

たかだ まさとし

1944年、京都市生まれ。京都大学理学部卒業後、シンクタンク主任研究員、武庫川女子大学教授などを経て'08年より現職。学術博士。専門は社会学・文明学・観光学。著書に「にっぽんの知恵」「酒場の社会学」「自動車と人間の百年史」「流行の社会学」、編著に「嗜好品の文化人類学」など。

■今回のテーマ「ともいき音楽～いのちと語らう響」について

人間は弱い動物である。丸腰で大きな獣に勝つことは不可能だ。危機に際して、鳥のように空を飛ぶことも出来ない。

そんな人間が、厳しい野生の自然を生き延び得たのは、仲間との「ともいき」のおかげだ。微妙な意思疎通を可能にする「言葉」という「平和な武器」の恩恵だといってもいい。

ただ、言葉より前に、その役割を果たしたものに「歌」があるらしい。言葉を持たないゴリラも、微妙な心身の波動を音声に託して「歌う」という。

そういえば、歌詞が理解できなくても、人は音楽に心身を揺さぶられる。成功したコンサートは、聴衆を一つ心に結びつけ、高揚させる。巨大な伽藍に響くパイプオルガン、ともに同じ歌を口ずさむ体験……いずれも人々の「いのち」と見事に共鳴する。

のみならず、声明に代表される仏敎音楽は、さまざまな音楽と出会い、混淆しながら謡曲、説経節、義太夫節から現代の演歌・歌謡曲にまで伏流し続けてきたのではなかったか。

高田公理(コーディネーター)

日 時：平成21年11月13日(金)

18時30分～21時15分

会 場：広島市青少年センター ホール

次 第

18:30～ 開会挨拶

■第1部：ともいきがたり

東儀秀樹

19:20～ <休憩>

19:35～ 浄土宗の活動紹介

■第2部：ともいき楽会

高石ともや・田中悠美子・南 忠信

東儀秀樹・高田公理

参加応募方法

参加は無料です。抽選で600名様に参加券を発送します。参加ご希望の方は、はがきに郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号を記入し下記までお送り下さい。はがき1枚で2名様まで申込可能(お名前2名分を記入)。FAXやEメールによる応募も可能です。申込みは**10月23日(金)消印・着信有効**。発表は参加券発送にて替えさせて戴きます。

〒604-8161 京都市中京区饅頭屋町595-3 **法然共生フォーラム事務局「広島」係** ※「広島」係と必ず明記願います

Eメールアドレス: tomoiki@convention.jp TEL: 075-256-8672 FAX: 075-256-8673

参加ご応募に必要な個人情報を第三者に対して開示・提供することは一切ありません。